



少し前まで肌寒かったのに、連休明けから暑くなってきました。それでも朝・晩は冷え込むので体調管理が難しいと思いますが、衣服調節を行いながら過ごしていきましょう。

先日、浜田市の対応方針に伴い、登園自粛要請期間の延長のお知らせを致しました。今までの自粛期間に加え3週間延びること・小中学校は徐々に通常通りになっていくことなどの理由から、今までのような自粛が難しくなるかもしれません。その中で、保育園ができることは、登園した子どもたちが安全に過ごせることだと思います。そこで園としましては、

- ・毎朝、検温する
- ・ひどい咳が出る時は、家で様子を診る
- ・園からの発熱は、37.5度以上で連絡
(熱がなくても咳がひどい・元気がない場合は、連絡させていただきます)
- ・園から連絡があった場合は、
兄弟一緒の降園
体調がすぐ回復しても、次の日は一日家で用心する
- ・仕事がお休みの時は、自粛する

ことを、引き続きお願いします。

国・県・市からの連絡が入り次第、メールにてお知らせしていきますので、確認をお願いします。お困りのことなどありましたら、いつでもご相談ください。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、例年春に行われている健康診断・歯科検診(フッ素塗布)などが中止になっています。毎朝検温したり、いつも以上に健康には敏感になっていると思いますが、生活リズムを整え(寝起きや就寝、食事の時間を決める)、健康的な生活を目指しましょう。

★眠れない時は・・・体を優しくトントンする。子守り歌を歌う。絵本を読む。
ホットミルクなどの胃に優しく、お腹が温まる物を飲ませる。



★朝・・・カーテンや窓を開け、日の光を取り込むと目覚めがよくなります。

★うんちをする時間をもつ・・・朝ごはんの後は、トイレに座る時間をもてるようにしましょう。

【朝うんちのポイント】

- 1 ゆとりをもって朝起きる
 - 2 朝起きたら、水またはお茶を飲む
 - 3 朝ご飯を食べる
 - 4 朝ご飯を食べ終わったら必ずトイレに座る
- * 便秘の人にもおススメです



仏教保育：5月のねらい

《持戒和合》

じかいわごう

心はとてもわがままです。

しかし、人は一人では生きていけません。私たちは、社会の中で生きています。

『約束事を守って仲良くする』

その大切さを子どもは本能で知っています。そこで、自我との葛藤が起こります。子どもたちにとってその最初の訓練の場が保育園です。

約束を守るとは社会生活の第一歩です。それをもとにして集団の秩序は保たれます。社会生活の第一歩である保育園生活を楽しいものにするためにもみんなが約束事を守っていきましょう。

まずは身近にいる大人がお手本になりましょう。

：月刊仏教保育カリキュラムより：

約束を守る！できていると思っていましたが、振り返ってみると、案外子どもとの約束が守れてないことにハッとしました。子どもは何も言わないことが余計に反省させられました。

《お家で遊ぼう》

ステイホームで家にいることが多いせいか、トイレトイペーパーの芯の増えが早いような気がします。せっかくなので、これで何かできないかなと探してみると、ありましたありました。

- びよんびよんさせて遊ぶ：芯の片方だけ潰して指で押さえる
(ウサギなど描くと雰囲気が出ます)
- 積み上げて遊ぶ：半分に切って切り込みを少し入れ、好きなようにはめて積み上げる
(大人よりも子どもの方が大作を作りそう！
模様を描いても楽しめますね)

- 飛ばして遊ぶ：飛行機の作り方もありました。
私が作ったのは、投げただけのような落ち方をしました・・・

～一言メモ～
この本の著者鮫島純子さんは、今度1万円札になる渋沢栄一さんのお孫さんです

「感謝を忘れていた自分に気づいてハッとする」

～97歳、幸せな超ポジティブ生活より～

ちょっとブレイク

『以前は、「何に感謝をすればいいのかわからない」と思っていました。何かをしてくれたり、ご恩を受けた方に感謝をすることは当たり前に行えるでしょう。でも、感謝はそれだけではないことに気づきました。』

とあります。新型コロナウイルス感染症によって、当たり前のことが当たり前に行えなくなっている今読めて良かったな、と思いました。保育園・学校・仕事に行けること・マスクなしで会話できることも当たり前ではなかったんだ、有難いことなんだということ。今だからこそ感じられることがたくさんありますね。